

一般社団法人 日本アレルギー学会
学術大会賞細則

(目的)

第1条 この細則は、一般社団法人日本アレルギー学会（以下、「本学会」という。）表彰規程第3条の規定に基づき、本学会学術大会において、独創的な研究業績を報告した本学会若手会員を顕彰し、我が国の臨床アレルギー学の向上を図ることを目的とし、一般社団法人日本アレルギー学会学術大会賞（以下、「本賞」という。）の選考に関し必要な事項を定める。

(応募者の資格)

第2条 応募者は次の各号を全て満たす者とする。

- (1) 本学会の正会員であること。
- (2) 過去に本賞の受賞歴がないこと。

(応募対象研究業績)

第3条 次の各号の全てを満たす研究業績を本賞の対象とする。

- (1) 当該年度の本学会学術大会で、一般演題、またはシンポジウムで発表された研究業績であること。
- (2) 臨床アレルギー学に繋がる独創的研究で、将来の発展を期待しうる大学卒業後15年以内の若手の者の萌芽的研究。ただし、出産、育児、介護等やむを得ない特別な事由で大学卒業後15年を超える者で、学術大会賞選考委員会委員長が認めた場合には、その事由に該当する期間は除くものとする。
- (3) 研究の主要部分が日本国内で行われた研究業績に限る。

(応募方法)

第4条 応募者は、次の各号の書類を、所定の応募用紙を用い提出する。

- (1) 申請書（氏名、所属、所属所在地、略歴、共同演者全員の同意等）
- (2) 業績の概要
- (3) 応募対象の学術大会抄録

(選考委員会)

第5条 本賞の受賞候補者は、学術大会賞選考委員会が選考する。

- 2 学術大会賞選考委員会は、学術委員長、当該年の学術大会会長、学術大会委員長、和・英学会誌編集委員長で構成する。
- 3 応募者の共同研究者、または応募者と所属を一にする委員は、当該件の選考に関与出来ない。

(選考等)

第6条 受賞者数は原則として5名以内とする。

- (1) 受賞者のうち、最も優れた研究業績を最優秀の者とし、受賞研究業績を本学会誌（Allergology International）へ原著論文または総説として投稿することを依頼

する。

- (2) 受賞者は理事会にて決定される。
- (3) 受賞者には賞状および副賞を贈呈する。副賞については別に定める。
- (4) 研究内容などを本学会ホームページに掲載する。

(副賞の原資)

第7条 本賞の副賞の原資は、学術大会賞積立資産として管理する。積立資産の執行については別に定める。

(補則)

第8条 この細則に定めるもののほか、本賞について必要な事項は別に定める。

(細則の変更)

第9条 この細則の変更は、理事会の承認を要する。

附則

この細則は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第 121 条第 1 項において読み替えて準用する同法第 106 条第 1 項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。

平成 24 年 4 月 1 日	制定
平成 25 年 10 月 8 日	改正
平成 27 年 3 月 20 日	改正
平成 27 年 9 月 4 日	改正
平成 27 年 12 月 11 日	改正
令和元年 6 月 13 日	改正
令和年 7 月 30 日	改正
令和 4 年 6 月 19 日	改正
令和 7 年 7 月 18 日	改正

(次ページ：学術大会賞副賞に関する内規)

学術大会賞副賞に関する内規

一般社団法人日本アレルギー学会学術大会賞細則第6条第3項にある副賞に関して、以下とする。

最優秀賞 300,000 円

(最優秀の者が2人の場合には、各200,000円とする。)

上記以外の受賞者 100,000 円

附 則

この内規の変更は、理事会の承認を要する。

平成24年4月1日 制定

※ 令和元年6月13日 副賞を100,000円に決定

附 則

この内規は、令和7年7月18日から施行する。(一部改正)

※ 副賞を300,000円(200,000円)100,000円の区分に改正)